

○ 建物事故予防ナレッジベース (トップページ) 「事故事例」をクリック(次画面)

○ 事故事例検索画面 (一部) 事故種別と建物用途が選択された状態(150件が該当)

「一覧表示」をクリック

○ 個別事故事例一覧 (一部) 右端「詳細」をクリックすると個別の事故事例へ移動

事故概要	事故パターン	施設用途	結果	傷害程度	情報ソース	記事
1 多数の店舗が入居している商業ビル内の食堂街の通路を歩行中の者が、通路に付着していた油等によって転倒、左足を骨折するなどの傷害...	 汚れ、ごみ	店舗・娯楽施設等	転倒	重度のケガ	裁判判例	詳細
2 店舗来客者が、店舗敷地内の通路部分に設置された車両進入防止用の鉄パイプに足を取られて転倒するという事故により負傷した。	 車輪止め・ポール	店舗・娯楽施設等	転倒	重度のケガ	裁判判例	詳細

○ 事故事例の詳細（個別事例）

インターネット調査より収集した事故事例

事故事例の詳細

←検索結果一覧へ戻る

事故概要

駐車場スペースより高くなっての廊下を、歩いていたら足を踏み外し、廊下と車の狭いスペースに足を落としてしまった。びっくりするくらい、足がみるみる腫れ、重度の内出血を起こした。腫れが引いた後も皮膚内部が腐ったようになって、病院で壊死部分の切開手術を行い、そのあとは毎日消毒包帯交換のために入院。



この事故の事故パターン

事故のきっかけ	事故の発生	害害	被害と被害者
	段差	踏みはずす	転倒

事故パターンの詳細と留意点を見る

事故概要詳細

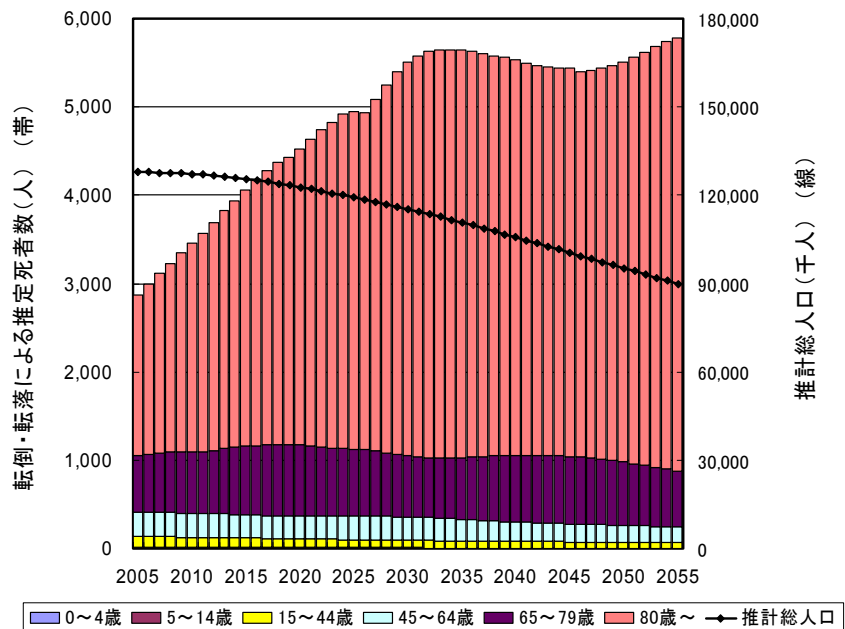
情報ソース	インターネット調査(画像有り)	事故にあった方	年齢	59
建物用途	店舗・娯楽施設等	性別	性別	女
場所	駐車場・車路	利用者要因		
建築部位	段差のある床			
障害程度	重度のケガ			

ID:626[mid:2:167]

Copyright©2009,National Institute for Land and Infrastructure Management

分類された事故パターン毎に
事故防止のための留意点
(対策案)を参照できる

○ 転倒転落による死者数の将来予測（国土技術政策総合研究所による試算）



(参考) 道路交通事故による死者数 「交通事故統計年報」(警察庁)より

平成 15 年	7,702 人
平成 16 年	7,358 人
平成 17 年	6,871 人
平成 18 年	6,352 人
平成 19 年	5,744 人